

スペシャルオリンピックス（SO）は、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。現在では全国全ての都道府県に普及していて、富山でも、現在約140名のアスリート会員が9つの競技種目に取り組んでいます。



今季のエッセイ

「勇気を出して競技会に参加しよう！」

事務局と卓球プログラムのヘッドコーチを務めさせていただいて早や2年が経ちました。私は、卓球を学生時代から続けていて、競技の傍ら高校生や中学生を教えていました。私がスペシャルオリンピックス（SO）に深くかかわりを持つことになったきっかけは、私が試合中にアキレス腱を切って競技からちょっと離れていたときに、アスリートの娘がナショナルゲーム熊本に行く機会があって、応援団として参加したときのことでした。大会期間中も楽しく過ごさせていただきましたが、特に閉会式での細川理事長（当事）のスピーチに感銘を受け、それからSOの魅力にとりつかれてしまいました。

さて、競技会のことについて少し触れたいと思います。競技会の目的の中に、「ファミリー・コーチ・ボランティアに有意義な経験を提供すること」があります。知的発達障害のある彼らは、一般社会から隔離される傾向にあり、さまざまなことを自ら体験する社会参加の機会が少ないと言えます。ですから、ちょっとした体験（イベント）にもものすごく敏感に反応します。SOのプログラムや競技会、イベントなどに参加することにより、アスリートたちが家族以外の学生や社会人と触れ合い、語り合う機会が増えます。親元を離れ、

事務局次長 卓球プログラムHC 林 慎二

大勢の中でコーチたちと一緒に汗を流し、勇気をもって競技会に参加する、そして満面の笑顔で表彰を受け、その喜びを分かち合う姿は、社会参加そのものだと思います。

アスリートは競技会の前と後とでは見違えるくらい変わります。競い合うことで全体の中の自分の位置が分かる、勝つ喜びを知る、負けた悔しさを受け入れることを知る。また、勝つために頑張ることを覚える、人前に出ることで緊張することを克服する……ものすごく成長を実感できます。「人生は感動体験のためにある」。彼らは、まさしくその言葉を思い起こさせてくれます。

ファミリーの皆さん、勇気を出してSOに参加したときのように、「もうちょっとの勇気」を出して競技会に参加してみませんか。競技会に参加するアスリートは、更にとくさんの感動を体験するはずですし、周りの人たちにもそれを分け与えてくれることでしょう。私も事務局の立場でいろいろな活動をサポートし、アスリートの自立の機会をどんどん増やしていきたいと思います。ファミリーの皆さんにはぜひ、「参加」という形でそれに応えていただきたいと思います。

イベント

クリスマス会

12月12日(土) 午後6時半から富山市の“ポルファートとやま”で2009年のクリスマス会を開催しました。



クリスマス会は、SON・富山で実施しているイベントで最も古くから行われているもので、初回は2003年12月20日、旧大島町(射水市)でした。



スノーシューイング記録会

この冬から正式に冬季プログラム種目としてスタートしました。

3月7日(日)、これまでの8回のトレーニングがほとんど毎日快晴だったので残念でしたが、雪・みぞれの悪天候の中、アルペンスキー地区競技会、スノー

シューイング記録会を開催し、無事に終了しました。場所はどちらも立山山麓スキー場で、藤井会長、鋪田監事、斉藤副会長が駆けつけてくれてご挨拶をいただき、表彰式ではプレゼンターも務めてくださいました。



スノーシューイング記録会は、アルペンスキー競技会の隣のグレンデ下で行われました。コースは2コースで、25mと50mで測定しました。

(1) 大会開催のきっかけ

2003年に設立準備委員会認証を、2005年に地区組織認証を受けたSON・富山は、2010年11月に設立5周年を迎えます。以前から、5周年の記念に大きなイベントを実施して県内にスペシャルオリンピックの周知を図ろうという計画がありました。イベントの候補として、毎年定期的に行われてきたハートフルコンサートを拡大して実施することや、写真展で5年間を振り返る案などが検討されました。

年々アスリート数が増加していて2010年夏季シーズンには150人に届くのではないかと予想の下、運営委員会では、ナショナルゲーム(NG)に出場できない大多数のアスリートへの手当ての検討を迫られました。そこで、「イベントは、やはりスポーツプログラムの盛り上がりで」ということで、ブロック大会

(BG)の開催を発案し、他のブロックでも同様に生じる問題としての「大多数のアスリートの救済」を旨に大会を企画しました。



2005年のハートフルコンサート

(2) 大会の目的

ということで、今回の夏季ブロック大会の趣旨の一番大きなテーマは、「NGに行けない多くのアスリートのために、スペシャルオリンピックの素晴らしさを実感できる大きな大会を富山で開催。ぜひ、みなさん、富山にきてください」となります。もちろん、私たちSON・富山のアスリートに対しても同様の気持ちを持

っています。NGは、SONが現地の地区組織に乗り込んで人的な手当ての一部を担いますが、ブロック大会はSONからの資金面での支援やブロック内からの数名ずつの人的協力以外は、予算も事務も全て自前です。会では山本肇SON・富山副会長を委員長として実行委員会を立ち上げて準備を進めています。

(3) ボランティアを募集しています

東海・北信越ブロックから約500人の選手団が参加し、競技役員だけでも100人が必要です。競技役員の他にも、会場周辺でのアスリートの見守りや駐車場誘導、控え室から競技会場への誘導や清掃に至るまでボランティアは400人を予定しています。そんな中、いま実行委員会が一番力を注いで対応しているのが、ボランティアと賛助者の募集です。

このハートフルニュースを読んでいる会員の方ご自身はもちろんのこと、会員がお勤めの会社の同僚や先輩、近所の皆さん、アスリートが通う学校の先生や施設の職員のみなさんに、一人でもたくさんの方に、この大会のボランティアとして参加していただけるよう、会員の皆さんそれぞれが、同封のチラシで勧誘をお願いします。×切を過ぎて、ギリギリ



BG富山実行委員会の様子

まで募集していく予定ですが、是非ともボランティア説明会には参加いただけるようお願いいたします。

参加者の声

富山で再スタート

SON・富山のみなさん、こんにちは！ 私は今年度からフロアホッケー（FH）プログラムで、シニアコースのヘッドコーチを担当しています。そんな私は2009年の2月に富山へUターンしてきました。その際、親兄弟はいるものの友人はほとんど音信不通で、20数年ぶりの富山生活は、正直言って不安で心細いものでした。それでも富山に戻ろうと決心できたのは、スペシャルオリンピックス（SO）のおかげでもあります。

2008年に東京で参加し始めたSOの活動で、私はアスリートの真っすぐながんばりに驚かされました。また、ファミリーやボランティアの温かい思いやりにも感動し、すっかりのめり込んでいました。そんなすてきな仲間が世界中に、そして

フロアホッケープログラムヘッドコーチ 柚木 健

富山にもいると知り、このつながりがあれば新しい生活への不安もきっと乗り越えられる、そう思えたのです。

富山に帰ってきてからは、さっそくFHで東海・北信越ブロック競技会、そしてトキめき新潟大会と、まさに感動の連続で、富山でのSO生活を満喫しています。ハートフルニュース No.28 では表紙にも登場してしまい、本当に楽しませてもらっています。

今年はFH以外のプログラムにもお邪魔しようと思っていますし、2010年夏季BGも積極的にお手伝いしていくつもりです。みなさん、これからも末永くよろしくをお願いします！！



SOに参加して

息子は、小さい頃からボウリングが大好きで、3年前にSOのボウリングに参加するようになってからはますます拍車がかかっています。インターネットで各ボウリング場の場所やそこに行く交通機関、時刻表で時刻も調べます。富山県内では飽き足らず、石川県にまで足を延ばして、一人でボウリング場巡りをするようにもなりました。

「好きこそものの上手なれ」とはよく言いますが、この3年間で大分上達してきました。私自身は、2年前からファミリーコーチとしてプログラムに参加させていただいています。アスリートたちは、スペアやストライクがきたときはガッツポーズをとり、皆でハイタッチをして体全体で喜びを表現します。

ボウリングプログラムヘッドコーチ 森永 文夫

失敗したときにはしょんぼりしていますが、そんなときでもファミリーの「ドンマイ！」という言葉に元気を取り戻してゲームを続けます。

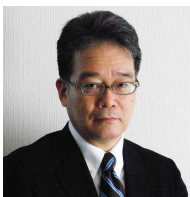
コーチをさせていただいたことで、ファミリーの声援が大きな支えになっていることを実感しました。失敗しても「大丈夫、君はできる！」と褒め称えることが、アスリートに自信をもたせ、集中力を高め、スポーツ技術の向上に繋がるということ、改めて知ることができました。大勢の仲間がいるSOの活動を私たち親子は心から楽しんでます。



社会福祉情報

みみはなのど・あそうクリニック

院長の麻生伸先生は、1982年から20年以上富山大学付属病院で勤務され、2005年から富山市西長江で開業されています。



先生は、子どもの聞こえや、ことばの発達を専門にしておられ、生まれたばかりの0歳児から中学生まで、きこえの検査や言語訓練に来られているそうです。補聴器や人工内耳をつけたお子さんだけでなく、自閉症などの発達障害をもつお子さんも言語聴覚士の先生とともに診察しておられます。木曜日には富山大学病院や高志リハビリテーション病院でも、診察しておられます。SOでは、長野で行われた国際大会からHAP（ヘルシー・アスリート・プログラム）のクリニカルディレクターとして参加され、2009年のアイダホの国際大会にも行ってこられたそうです。BG富山でもHAPにご協力くださる予定です。



明るく開放感のある待合室には、絵本＆雑誌＆「ドラえもん」のコミックも揃ってます。子供トイレや授乳室、入り口にはスロープもあり、バリアフリーです。

受付	診察時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
15分前～	9:00～12:30	○▼	○▼	○▼	△*	○▼	○▼	△
15分前～	14:30～18:30	○▼	○□	○●●	△**	○□	○● 14時～18時	△

- 耳鼻咽喉科一般診療：担当医 あそ 伸
- 小児聴覚・言語外来：医師・言語聴覚士による「子どものきこえとことばの発達相談」（要予約）
- 補聴器外来：医師・言語聴覚士、補聴器認定技師による補聴器合わせ、無料貸し出し（要予約）
- 人工内耳外来：医師・言語聴覚士による人工内耳の調性・相談（要予約）
- ▼ 言語聴覚士による、「子どもの聴力検査」ができます。小さなお子さんの聴覚能力検査は要予約。
- いびき・無呼吸の相談・検査、めまいの相談・検査（要予約）
- * 第2・4木曜日午前：あそ院長は、富山大学付属病院で聴覚専門外来を担当
- ** 毎週木曜日午後：あそ院長は、高志リハビリ病院で小児聴覚専門外来を担当

あそうクリニック
 TEL 076-423-5215
 FAX 076-425-2839
 〒930-0876 富山市西長江1丁目1-11
 mail aso_clinic@mimihananodo.net
 website <http://www.mimihananodo.net/>

社会福祉情報

畑のパン屋さん

「畑のパン屋さん」は、高岡市戸出に住む金森五月さんが自宅の近くに平成 18 年 9 月に開店した店です。長男の弘樹さんとスタッフ 2 名の計 4 名で頑張っています。値段もリーズナブルで、パンの種類は 30 種類以上と豊富です。人気商品は豆パン、白いクリームチーズパンとい



ふれあい工房 <よっといで> 畑のパン屋さん
営業時間 9:30 ~ 17:30
定休日 土日祝
高岡市戸出町 3 丁目 2416
Tel : 0766-63-1916

うことで、施設などへの出張販売や FAX での注文も受け付けています。旧高岡市・旧砺波市あたりであれば配達も可能です。金森さんはまた、障害者地域生活支援・交流グループ「よっといで」の代表としても積極的に活動しています。



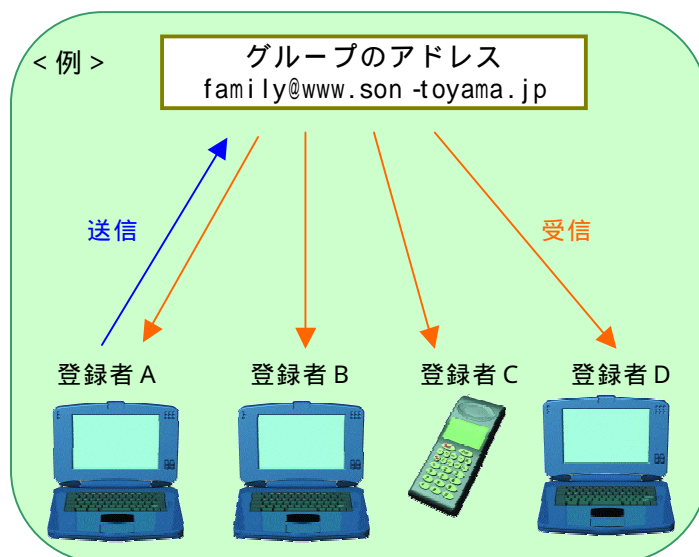
メーリングリストを活用しよう！

メーリングリストとは？

決められたアドレスにメールを送ると、情報の発信者も含め、登録されているすべてのアドレスにメールが配信される仕組みをメーリングリストといいます。届いたメールに返信すると、件名に“Re”のついた返信メールがすべての登録者に届きます。つまり、メーリングリストを使って情報をやり取りすれば、1 通のメールで、すべての参加者にその内容が伝わるのです。返信も同じことです。

メーリングリストに参加するには、登録することが必要です。この手続きはそのメーリングリストを管理している管理人が行います。

SON・富山でも、運営委員会、ファミリー、ボランティアなどのメーリングリストを通して情報を共有しています。



<メーリングリストを利用するときの留意点>

- 誰が発信したかわかるように、名乗る、もしくは署名を入れましょう。
- 電子メールは文字のみのコミュニケーションです。誤解を生じないように、わかりやすい表現を心がけましょう。
- 自分の発言には責任をもち、他人を誹謗中傷するような内容は書かないようにしましょう。

アスリートの横顔

前田 拓海(まえだ たくみ)

2005 ボウリング～
陸上・ボウリング



2009 年越中アート入選作「オムライス」

岩瀬 真奈(いわせ まな)

2007AS～
サッカー・バスケットボール
水泳・陸上、FH・AS



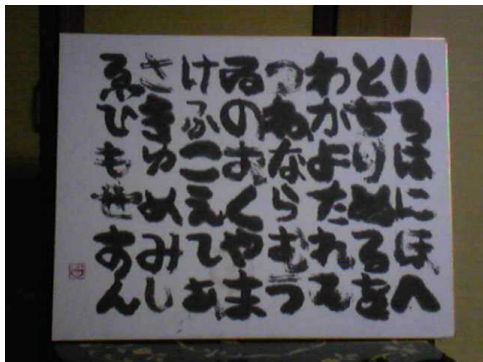
夏休みに部活(美術部)
で描いた作品

宮下 陸也(みやした りくや)

2004 水泳～
水泳、FH



学校で書きました



石井 純(いしい じゅん)

2004 水泳～
バスケ、水泳、
卓球、FH



お皿は
中2の時の作品

海内 晴佳(かいない はるか)

2004 水泳、水泳



学校で作った、
大好きなエルモの
ティッシュボックス



三上 竜生(みかみ たつお)

2008FH～、陸上・FH



小学校の家庭科の
授業で作った
ウォールポケット

SP委員会より

3月14日(日)東京都渋谷区にある日本アムウェイ合同会社本社ビルで、2010年度SONスポーツプログラム委員会全国会議・上半期ブロック別会議が開催されました。全国のSP委員長が一堂に会する会議で、総勢60名あまりが出席しました。

まず、全体会議として今年度のSON事業計画が説明されました。今年は11月に大阪でナショナルゲームが開催されることに伴い、その進捗状況や来年ギリシャのアテネで予定されているワールドゲームのクォータ枠の説明などがありました。

その後、全国6ブロックに分かれてのブロック別会議が行われました。



東海・北信越ブロックではあいにくSON・三重、福井準備委員会の2地区が欠席でしたが、夏季ブロックゲーム in 富山の進捗状況や、各地で開催予定のコーチクリニックの日程調整、また各地区の特徴的なプログラム取り組み事例について報告や協議が行われました。

この会議は年に2回(1回は全国一同に会して、1回はブロックごとに)開催されていて、各地区との情報交換や全国的な動きを知るため大変有意義な会議です。今後も継続的に参加して多くのお土産(情報)を富山に持ち帰りたいと思います。



アスリート委員会より

今年度のアスリート委員会は、みんなで楽しめるイベントの企画を中心に話し合ってきました。思うように話し合いが進まないこともありましたが、納得のいくまで話し合ってきました。アスリート委員みんなの頑張りもあり、昨年11月21日に無事「THE カラオケ」を開催することができました。アスリート、ファ

ミリー、ボランティアみんなでわいわい楽しみ、時間が経つのが本当にあっという間でした。参加していただいたみなさんの笑顔が印象に残っています。今年も何か楽しいイベントを開催できたらと思っています。「こんなことがやりたい!」などリクエストがあれば教えてください

友人・知人をボランティアに誘ってください



会場名	種目など	ボランティア内容
総合体育センター周辺	開閉会式、卓球、バスケット、サッカー	(1) 競技の進行補助(主に、競技会の中での計測や誘導といった活動になります)
高岡市長慶寺温水プール	水泳	
クアトロブーム小杉	ボウリング	(2) 会場設営・片付け、アスリートの見守りや誘導・規制等の補助など(募集するメインの活動です)
富山県五福陸上競技場	陸上競技	
立山青少年自然の家	宿泊、アスリート交流会	(3) 各種販売助手や環境美化活動など(ちょっとした参加でも歓迎です)
砺波青少年自然の家	宿泊、アスリート交流会	

大会当日のスケジュール

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
9/25(土)															
9/26(日)															

競技
 開閉会式
 選手団移動
 準備・片付け
 食事等
 アスリート交流会

詳しくは、同封の募集要項をご覧ください。

事務局から

8月28日(土) BG富山1ヶ月前イベントを開催します。場所はファボーレ(旧婦中町)の「太陽の広場」です。今回は、司会に鍋田恭子さんを迎え、友井賢太郎バンドさんが演奏くださいます。時間は11時30分～1時30分まで。

SON・富山のアスリートはもちろん、できるだけたくさんの方にお出かけください

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2009年11月26日～2010年4月30日)>

敬称略

青木誠之助	小川由加里	笹井亜弥	竹田慶正	中山真美	本江重吉	村下禮子
青木正嗣	尾塩沙加恵	笹井隆康	谷口正夫	中山正之	本田繁	毛利優樹
青木隆濟	尾塩真子	笹井美保	谷崎徹朗	中山育子	前川駿輔	毛利圭輝
青木洋子	押田繁光	笹井祐輔	田村宏道	中山正詞	前田恵佑	毛利信幸
浅野達哉	小野寺拓海	佐々木佑	田村進	中山スミエ	前田友幸	森完一
油本翔太	小野寺久美子	佐々木一成	田村多栄子	奈辺賢治	前田万里子	森永匡俊
油本光正	海内孝明	佐藤龍	塚本裕香子	奈辺明香里	前田拓海	森永文夫
油本栄子	笠間健士朗	佐藤昇	塚本勝宏	奈辺晴美	前田久美	森永ゆみ江
石井純	金森弘樹	佐藤和子	塚本須麻子	西田直子	牧野歌子	八木綾子
石井武志	金森五月	篠田健弘	塚本和典	西野昌樹	巻端克文	八木信成
石井郁子	金山彰	柴田真成	辻圭介	西野彰	巻端真紀	八木信一
石田尚輝	金山美智代	新出浪子	辻啓子	西野淳子	増岡涼	八木恵子
伊勢千紘	金山敦	姿駿成	常木くるみ	野手美由貴	松田智至	山口修
伊勢真由美	上隆義	杉田幸平	常木修一	野手光子	松田茂	山口恵美
井上訓	上文佐乃	杉田康子	常木育美	荻原律子	三上裕之	山崎優介
岩白翔太	神島雅諭	杉本詩歩	寺島知駿	萩行慎一	三上恵美子	山崎政行
岩白真衣	神島健二	杉本仁志	寺島龍一	八幡英樹	三津島渉	山崎麻住実
岩白誠	神島辰枝	杉森喜三郎	寺島慶子	八幡祐子	三津島淳	山田周平
岩白真美子	上原悠太	杉森建彦	寺畑雅英	早崎安雄	三松隆之	山田孝哉
岩瀬真奈	上原恵	杉森真一	當波瑛美	早崎雪子	三松徳之	山本廉
岩瀬晴菜	上原公子	杉森弘子	當波豊司	林俊祐	三松絹枝	山本憲文
岩瀬武	神谷毅	関敦志	當波秋子	林繁信	宮崎花恋	吉岡俊博
岩瀬妙子	川瀬孝義	関望	鳥内勇人	林知佳	宮下陸也	吉澤誠
宇於崎拓真	下条竜一	関好博	鳥内禎久	関裕貴	宮下敬	若松文枝
宇於崎俊陽	下条由季子	関悦子	鳥内千晶	関和美	宮下洋子	和田透
梅沢侑希	河内雅人	素谷孝子	中嶋利雄	福島茂次	宮野光正	渡辺守人
円仏和司	河内久美子	素谷宏	長久慎吾	福島志美子	宮野誠二	渡辺友里
円仏吉秀	石仙拓洋	高畑武志	長久満	福島亘	宮野明美	腰田恵子
大坪敏彦	小坂良夫	高畑広美	長久栄子	福島朝子	宮林亮	渡辺隆志
大野博美	佐伯秀彦	田口美里	中村和馬	二口悠太郎	宮林隆夫	渡辺康広
大野裕司	坂田翔太	田口昌宏	中村未来	二口逸郎	村上和久	渡辺久子
小川航	坂田裕紀	田口靖子	中村愛菜	二口桂子	村下陽一郎	
小川隆	笹井大生	竹内阿友美	中村ゆかり	方堂千恵子	村下勇	
小栗小児科医院		LB スキークラブ		(株)富山ガスエンジニアサービス		

ありがとうございました。

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山

(日本は、「ニッポン」としてください。)

北陸銀行本店(店番 101)、普通口座 5308370

賛助金

<個人> 一口 3,000円

<企業・団体> 一口 10,000円

お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

DocuCentre-IV C2260



シンプルな操作と環境への配慮により、快適な
オフィスワークをサポートするカラー・モノクロ複合機

富士ゼロックス北陸株式会社

本社 金沢市中橋町11番18号
TEL(076)260-0900 FAX(076)260-0901
<http://www.fujixerox.co.jp/hrx/>

写真は、DocuCentre-IV C2260 PFSモデル